

平成26年度 東松山市水道事業決算の概要

業 務 量	
給 水 人 口	89,295人
給 水 戸 数	40,909戸
総 配 水 量	12,653,766 ^m ₃
総 有 収 水 量	11,290,140 ^m ₃
1人1日平均使用水量	346ℓ

◆収益的收入及び支出 (税抜)

項 目			金額(千円)	構成比
収 益	経 常 収 益	営業収益		
		水道料金	1,576,311	87%
		その他の収益	21,617	1%
		営業外収益	217,745	12%
	小計(A)	1,815,673		
	特別利益	0	0%	
事業収益(C)			1,815,673	100%
費 用	経 常 費 用	営業費用		
		人件費	89,470	6%
		受水費	606,729	39%
		委託料	184,583	12%
		修繕費	93,732	6%
		動力費	41,207	3%
		減価償却費	438,492	28%
		その他の経費	61,631	4%
	営業外費用	24,952	2%	
	小計(B)	1,540,796		
特別損失	6,882	0%		
事業費(D)			1,547,678	100%
経常利益(A)-(B)			274,877	
純利益(C)-(D)			267,995	
供給単価			139.62円	
給水原価			135.42円	

◆資本的收入及び支出 (税込)

項 目		金額(千円)	構成比
収 入	固定資産売却代金	0	0%
	負担金	43,888	7%
	加入金	168,609	28%
	投資有価証券償還金	400,000	65%
	資本的收入(A)	612,497	100%
支 出	建設改良費	852,428	64%
	企業債償還金	72,936	6%
	投資	400,000	30%
	資本的支出(B)	1,325,364	100%
差 引		△ 712,867	
補 て ん 財 源	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	45,408	
	減債積立金	72,936	
	過年度分損益勘定留保資金	594,523	
	補てん財源計	712,867	

◆貸借対照表

項 目		金額(円)
総 資 産	有形固定資産	10,090,600,043
	無形固定資産	10,190,270
	投資	1,999,683,333
	流動資産	3,448,135,365
	(うち、現金預金)	2,932,644,474
	総 資 産	15,548,609,011
負 債	固定負債	1,184,133,013
	流動負債	465,636,439
	繰延収益	3,681,961,231
	負 債	5,331,730,683
資 本 剰 余 金	資 本 金	4,950,376,213
	剰 余 金	5,266,502,115

平成26年度東松山市水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

(業務の状況)

平成26年度末における給水人口は8万9,295人で前年度に比べ242人(0.27%)の増加となり、給水戸数は4万909戸で前年度に比べ643戸(1.6%)の増加となりました。

年間総有収水量は1,129万140m³で、前年度に比べ25万3,626m³(2.2%)の減少となりました。これは、平成26年4月で滑川町への分水を解消したこと、節水意識の向上や節水機器の普及によるものと思われます。

年間総配水量は1,265万3,766m³で、前年度に比べ13万2,386m³(1.0%)の減少となりました。年間総配水量の内訳は県水が982万797m³、市水が283万2,969m³となりました。

(経理の状況)

・収益的収入及び支出(税抜)

事業収益は、18億1,567万2,930円で、前年度に比べ1億3,822万4,505円(8.2%)の増加となりました。これは、会計基準の見直しにより長期前受金戻入として、負担金、加入金等により取得した固定資産の減価償却見合い分1億6,517万4,984円を収益化したことによるものです。また、給水収益は調定件数24万8,023件に対する収益で、15億7,631万562円となり、事業収益に占める割合は86.8%となりました。

事業費は、15億4,767万8,352円の執行で、前年度に比べ2,084万3,161円(1.4%)の増加となりました。事業費の主なものは、受水費が6億672万8,845円(39.2%)、減価償却費が4億3,849万2,155円(28.3%)となりました。

この結果、当期の純利益は2億6,799万4,578円となりました。

・資本的収入及び支出(税込)

収入は、配水管布設工事等負担金4,388万8,257円、加入金1億6,860万9,060円、投資有価証券償還金4億円等の合計6億1,249万7,317円となりました。

支出は、機械設備の更新や配水管の布設等の投資額8億5,242万7,822円、企業債の償還金7,293万6,085円、有価証券への投資額4億円の合計13億2,536万3,907円で、資本的収入支出差引不足額7億1,286万6,590円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,540万7,608円、減債積立金7,293万6,085円、過年度分損益勘定留保資金5億9,452万2,897円で補てんいたしました。

(建設改良事業の状況)

本年度は、配水管網整備のため、高坂駅東口第一土地区画整理事業地内をはじめ市内7ヶ所において配水管を新たに布設いたしました。また、老朽管の更新や配水管の布設替を市内12ヶ所で行いました。この結果、本年度末における導・送水及び配水管の総延長は33万4,948m、消火栓は1,078基となりました。